

一般社団法人

難聴者音楽感受研究所



音の感じ方は人それぞれでも、音楽には感動を共有できる力があります。難聴者音楽感受研究所は、人が音楽から受ける恩恵を研究し、難聴者と健聴者の音楽聴取を補助し、人生を豊かにする環境を作り、文化と教育の振興に寄与することを目的として設立されました。



顧問

大沼直紀

医学博士

国立大学法人筑波技術大学名誉教授(元学長)



理事長

松本祐二

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 打楽器奏者

洗足学園音楽大学 講師

一般社団法人難聴者音楽感受研究所
〒359-1133埼玉県所沢市荒幡888-11
TEL&FAX 050-1583-2520

メール onkan.jp@gmail.com

URL <http://matsum4.wix.com/kanjyuken-music>



主な活動

学術発表・論文

【国内】

- ・人工内耳友の会会報;「音楽感受研究所便り」を連載
- ・日本音楽療学会学術大会;2009年～2012年、2015年、2018年研究発表
- ・洗足論叢(2011年度);『人工内耳装用者が音楽聴取的満足を得る為の研究』
- ・東京大学先端科学技術研究センター;「聞えのバリアフリー・シンポジウム」(2012年2月)
- ・音楽療学会国際会議;「人工内耳装用児のための音楽活動支援」(2017年7月)

【国外】

- ・International Federation of Oto-Rhino-Laryngological Societies(韓国ソウル2013年6月)
- ・Asia Pacific Symposium on Cochlear Implants and Related Sciences(インド2013年11月)
- ・International Conference on Cochlear Implants and Other Implantable Auditory Technologies(ミュンヘン2014年6月)



実験・リハビリ

- ・生演奏の聴取実験(年間を通し随時)
- ・ミュージック・ラボルーム(2003年～2004年)
- ・ミュージック・ラボルーム追跡調査(2007年度)
- ・補聴器装用児の音楽ワークショップ(2014年から毎年8月)
- ・小学生音楽作り授業(2014年～)
- ・人工内耳装用児の為の音楽聴取向上法の研究
～療法的音楽活動が与える影響～(2016年～)
- ・東京医科大学人工内耳センター「親子レク」(2016年～)
- ・音を作ろうSTAGE(2017年～)
- ・音を作ろうベーシック(2018年～)

演奏会

● 定期公演

2006年から毎年3月開催

● 地方公演

2007年2月浜松公演
2007年6月横浜関内公演
2009年2月刈谷公演
2010年2月赤穂公演
2010年11月京都公演
2011年1月信州大学病院公演
2012年1月まつもと芸術館公演
2012年10月大阪公演
2012年11月北辰館公演
2013年11月北辰館公演
2014年3月長崎公演
2014年11月沖縄公演
2016年3月岡山公演
2016年10月福山公演
2017年3月長野市芸術館公演
2018年12月奈良公演
2019年12月北海道公演



沿革

2001年洗足学園音楽大学内に於いて人工内耳と音楽についての研究を開始
2007年「音楽感受研究室」を同大学内に設置し、聴覚障害者の音楽聴取向上法の研究を開始
2013年同大学附属音楽感受研究所を設置。
2015年一般社団法人難聴者音楽感受研究所を設立し、聴覚のバリアフリーを目指した研究活動を開始

社会的評価及び貢献

【社会貢献】

音楽を楽しもうとするものの、中途失聴や難聴により、個人では乗り越え難い壁が生じている人(小児、成人、高齢者)に対し、安心して音楽を味わい、学べる機会を提供する

【テレビ放映】

東京MX-TV「ガリレオチャンネル」『よみがえる音の世界～人工内耳による聴覚の回復～』

2001年12月9日放送

テレビ神奈川「ニュース930」『人工内耳で音楽を楽しむ』2006年3月31日放送

NHK教育テレビ「ろうを生きる難聴を生きる」『人工内耳・心のケア』2009年11月29日放送

【新聞掲載】

読売新聞『人工内耳の人に音楽を』2006年3月22日掲載

東京新聞『音楽の素晴らしさを楽しんで』2007年3月20日掲載

毎日新聞『人工内耳-音楽を楽しめる可能性も』2009年8月18日掲載

中日新聞『人工内耳に澄んだ響き 難聴児らに音楽会』2012年1月8日掲載

沖縄タイムス『難聴者ら音楽を体感』2014年11月24日掲載

琉球新報『音聞きやすく工夫 人工内耳配慮 那覇で音楽祭』2014年11月29日掲載

【研究助成採択】

私学学術研究振興資金(2005年度、2007年度、2015年度)

子ども夢基金(2015年度、2016年度、2017年度、2018年度、2019年度)

ロームミュージックファンデーション(2016年度)

朝日新聞文化財団(2017年度、2018年度、2019年度)

俱進会(2019年度)

社会的要請・独創性、及び効果

【健聴者に対する音楽感受尺度の作成】

デシベル(dB)やヘルツ(Hz)以外の、音楽感受に関する聴能尺度の作成。

効果⇒医療、教育、療育に役立つ。各現場での応用。

【人工聴覚使用者(補聴器・人工内耳装用者等)に対する音楽リハビリの充実】

人工聴覚使用者の楽器音弁別訓練。聴こえのバリアフリーを目的とした演奏会の開催。

効果⇒一般教育に役立つ。特殊教育分野への応用。

【聴覚障害者に対する音楽聴取補助の研究】

補聴器使用者のコンサートホールにおけるハウリング問題を言語補聴システムの応用により解消。

効果⇒聴覚障害者と健聴者が音楽による感動を共有する。コンサートホール以外でも応用。



松本祐二(まつもとゆうじ) 打楽器

1990年から1993年にかけてベルリン、ブルガリア、マレーシア、シンガポールなどの打楽器アンサンブルに参加し、1994年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に入団。1996年洗足学園音楽大学講師に就任。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団打楽器奏者、洗足学園音楽大学講師、パステル音楽院ドラム科講師、洗足学園音楽大学附属音楽感受研究所研究長を経て一般社団法人難聴者音楽感受研究所理事長。



内之倉勝哉(うちのくらかつや) 歌

国立音楽大学卒業。同大学院修了。併せて大学院研究奨学金受賞。同大学大学院博士後期課程単位満期取得。ウィーン国立音楽演劇大学-歌曲・オラトリオ科、及びオペラ科へ留学。これまで国内外で多数のコンサート、リサイタル、舞台に出演。第22回友愛ドイツ歌曲コンクール第一位、文部科学大臣賞受賞。座間全国ミュージカルコンクール歌唱部門第一位。国外においても、F.シューベルト国際歌曲コンクールをはじめとする国際コンクールにて上位入賞を果たす。



小西沙帆(こにしさほ) マリンバ

洗足学園音楽大学音楽学部打楽器コース卒業。在学時、特別選抜演奏者に認定される。これまでにマリンバ、打楽器を高田亮、石井喜久子、神谷百子の各氏に師事。現在はフリーの打楽器奏者として、吹奏楽やオーケストラなどで幅広く活動している。



丸山典子(まるやまのりこ) ピアノ & 作曲

洗足学園音楽大学ピアノ科卒業。公立中学校教諭を経て、洗足学園音楽大学附属音楽感受研究所主任研究員を務め、あわせて同年より公立高等学校音楽科講師を務める。ピアノを遠藤比佐、岡山京子、落合千代子、渡辺健二、分離唱を佐々木基之、音楽療法を塩谷百合子、二俣泉の各師に師事。現在、一般社団法人難聴者音楽感受研究所主任研究員、日本音楽療法学会認定音楽療法士(補)、昭和大学兼任講師。



下斗米恒介(しもとまいこうすけ) チェロ

宮城県出身。東京芸術大学別科を経て東京芸術大学大学院修了。これまでチェロを間瀬利雄、秋津智承、西谷牧人、中木健二らの各氏に師事。堤剛やフルクを始め、多数マスタークラスを受講。東京ヴィヴァルディ合奏団団員

一般社団法人 難聴者音楽感受研究所

FAX 050-1583-2520
メール onkan.jp@gmail.com

当研究所にご支援を頂ける個人、団体、法人を募集いたしております。

